



麻布幼稚園だより

令和5年3月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

園庭の大きな桜の木の蕾が、少しずつ膨らんできました。沈丁花の蕾も色づき始め、春の訪れと共に、修了式・学年末が近いことを知らせてくれています。

先日は「子ども会」へのご協力、ご参観をありがとうございます。「家でも劇の話をしてくれ、とても楽しみにしている様子でした。」「大きな声が出ていて驚きました。」「友達と協力して進めている姿に成長を感じました。」等の感想をいただきました。保護者の皆様がお子さんや学級の取組の姿を温かく見守り、成長をしっかりと見とっていただいていると感じました。お家の方々に観ていただけたこと、頑張ったことや楽しかったことを共有してもらえたことで、子供たちは心満たされ、自信へとつながったことでしょう。

3学期もあとわずかとなりました。今年度は園の教育目標である、「やさしい子」を重点として、遊びや生活の中で様々な、「人・物・こと」に出会い、気づき、考え、自分で決めて行動する幼児を育てる教育を推進してきました。

幼稚園教育要領「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に示されている、10項目の中「自立心」「道徳性・規範意識の芽生え」「言葉による伝え合い」の視点から幼児が発達していく姿を捉え、港区が推進する真の国際人の育成につながる教育について実践をしてきました。

「人・物・こと」に関わり、様々な体験を通して、確かな成長をした子供たち。もう少しで、一つ上の学年になることをとても楽しみにしています。成長した喜び、張り切る気持ちを大切に、修了式・学年末を迎え、自信をもって次へと進めるように支えたいと思います。

保護者、地域の皆様には、今年度の麻布幼稚園の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

